

# IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2009年6月号 ([http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/22-newsletter/nl\\_2009.html](http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/22-newsletter/nl_2009.html))

## <平成21年度産業応用部門事業計画の要点>

### 1. 活動方針

平成17年度からスタートした研究調査運営委員会、論文委員会、編修広報委員会に加えて、H20年度には国際活動WGを国際化委員会に昇格させ、4委員会体制を確立した。平成21年度にはこの体制にて、論文誌のさらなる充実を推進すると共に会員の満足度向上、産業構造の変化を踏まえた新分野への取り組みと、会員の拡大、国際化の推進を目的とした活動を行なう。以下に具体的な重点施策を示す。

- (1) 論文誌関連： 連携強化を図った論文委員会と技術委員会の体制およびエディタ制の充実や電子投稿・査読システムの定着化により、研究会や国際会議からの論文投稿を促進し、論文誌の充実を図る。また論文誌や研究会資料のWEBサービスを充実すると共に、重要基盤技術論文等をまとめたテクノロジーアーカイブスの発行などの具体的なサービスを検討する。(部門誌総ページ発行予定：1872 ページ)
- (2) 調査研究活動関係： 会員の満足度向上と部門活動活性化のため、D部門の現状技術分野と今後連携強化が進む新たな技術分野を含め、調査・研究活動の活性化に向けた対策を講じるとともに、新規テーマによる論文誌特集号、シンポジウムの企画を検討する。また、研究会の国際化を継続推進する。
- (3) 広報活動・講習会関係： 会員拡大および会員サービスのための広報活動、講習会(特に産業応用フォーラムの推進)の充実など、タイムリーな情報発信と企画実施の取り組みを強化する。
- (4) 国際化活動関係： 国際化委員会の強化のために、国際化推進補佐を新たに設け、本部の国際活動委員会と連携し国際化推進のための各種施策を検討する。
- (5) 部門会計関連： 部門収入予定 約 105,432 千円。部門支出予定：約 101,715 千円、繰越金予定：約 3,717 千円

### 2. 部門大会・国際会議等の開催予定

- (1) 平成21年度部門大会：会期/平成21年8月31日(月)～9月2日(水)、会場/三重大学、内容/一般講演(ポスターセッションを含む)、シンポジウム、オーガナイズドセッション、ヤングエンジニアポスターコンペティション、特別講演、懇親会、体験学習(子ども科学技術教室)、テクニカルツアーなど(参加予定者数：1,000名)
- (2) 平成22年度部門大会：芝浦工業大学で開催予定(計画中)
- (3) 部門主催・共催の国際会議：ICEMS2009(2009/11/15-18, Tokyo)(部門共催)  
IPEC-Sapporo2010(2010/06/21-24, Sapporo)(部門主催)

### 3. 部門会員数の増減

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
6,301名(年度末)	6,390名(H18年10月)	6,325名(H19年10月)	6,374名(H20年10月)	6,550(H22年3月末目標)

平成21年度は、研究会や国際会議からの論文投稿を促進する事による論文誌の充実、テクノロジーアーカイブスの発行などの具体的なサービスを検討、および会員拡大および会員サービスのための広報活動・講習会(特に産業応用フォーラムの推進)の充実とタイムリーな情報発信と企画実施の取り組みを強化する、などを計画して会員にとって魅力ある部門となるよう努めてまいりますので、活力ある学会づくりにご協力をお願い申し上げます。

産業応用部門役員会 総務企画担当